

# 形式意味論ノート

H.F.U. Nakura

最終更新: 2022 年 5 月 2 日

## 1 Stalnaker's idea

### 1.1 Presupposition-free explanation

Stalnaker の意味論に関する仮定は次の四つである (参考:[Heim, 1992])。

- 文 (LF) の意味は文脈変化力 (Context Change Potential; CCP) である。
- CCP は文脈 (可能世界の集合) 上の関数  $\varphi : \mathcal{P}(W) \rightarrow \mathcal{P}(W)$  である。
- 前提は、CCP が  $\mathcal{P}(W)$  に対して defined であることの条件として定式化される。
- 前提投射は CCP がボトムアップに合成されることの副産物として予測される。

ある文  $S$  の CCP を  $\varphi$  としよう。  $\varphi$  は、  $S$  が発話された時点での文脈  $c$  を引数として、  $S$  が発話された後の文脈  $c'$  を返す。 変化後の文脈である  $c'$  は、  $c$  と、  $S$  が真であるような可能世界の集合  $W_S$  との共通部分 (intersection) である。  $\llbracket \cdot \rrbracket$  を、 LF から CCP への関数 (解釈関数) とすると、以上の記述は次のように表現できる。

(1)

任意の文脈  $c$  について,  
 $\llbracket S \rrbracket(c) = c \cap W_S$   
ただし  $W_S = \{w \mid w \models S\}$ .

### 1.2 On presupposing

上述の枠組みで、前提は CCP が defined な関数であることの条件として定式化される。このことを組み入れた形で上の定義を言い直すと次のようになる。

## 参考文献

- [Heim, 1992] Heim, I. (1992). Presupposition projection and the semantics of attitude verbs.  
*Journal of semantics*, 9(3):183–221.